

三笠ジオパークの体験型ジオツアーの実施における参加者の推移及び変遷に関する分析について

An analysis of the implementation of Mikasa Geopark`s experienced-based GeoTour and its impacts on recruitment and changes in the participant population.

*下村 圭^{1,2}、上口 壮太^{1,2}

*kei SHIMOMURA^{1,2}, souta KAMIGUCHI^{1,2}

1. 三笠ジオパーク推進協議会、2. 三笠市経済建設部商工観光課 地域開発・ジオパーク推進係

1. Mikasa Geopark Promotion council, 2. Regional Development and Geopark Promotion Division, Mikasa City Office

三笠ジオパークは2013年に日本のジオパーク・ネットワーク（JGN）に加盟し、北海道のほぼ中心部に位置している。

三笠ジオパークでは、JGN加盟以後、体験型を中心とした様々なジオツアーを実施してきた。

近年では小学生以下の参加者が全体の割合として最も多くなり、ジオパークにおける「ジオ・エコ・ヒト」の取り組みについて多様な世代へのアプローチに成功している。

そこで本発表では、ジオツアーにおいて得られた情報やアンケート結果に基づき、参加年代の変化及びリピート率などからみた年次的変遷から、ジオパークのニーズや地域の歴史や風土を活用したジオツアーの有用性について分析を行い、今後の地域振興とジオパーク活動における考察を行う。

キーワード：ジオツアー、地域振興、三笠ジオパーク、ジオヘリテージ

Keywords: GeoTour, Regional Development, MikasaGeopark, GeoHeritage